

(別紙2)

廃棄物物性・安全データシート

年 月 日 作成

(本データシートは廃棄物の品質を明示していただくものであり、排出事業所の責任において作成して下さい。)

廃棄物名称		排出事業所		担当部署		
				記入者		
廃棄物の物性	写真の提出	搬入する廃棄物の写真を必ず提出して下さい。また、現地調査の際は、サンプリングを実施することがあります。				
	外観性状(目視)	最大長さ() cm 最大径() cm 色() 臭気(激・有・無) 流動性(有・無) 固形物の割合() % 含水率() %				
	品質安定性	パラツキ(有・無) 水との反応性(有・無) 燃焼性(強燃・燃・不燃) 混合反応性(酸・アルカリ・その他) 具体的に...	受入時に問題とならないようパラツキの範囲等を明記して下さい。			
	主成分及び混合成分分子式含有率(%)			合計が100%となるように明記して下さい。パラツキがある場合は範囲で記入して下さい。重要な微量成分も明記して下さい。(品名は必ず含有物質名を記入して下さい。)		
		Cl () Br () その他 ()				
	有害物チェック	水銀又はその化合物 () カドミウム又はその化合物 () 鉛又はその化合物 () 有機リン化合物 () 六価クロム化合物 () 砒素又はその化合物 () シアン化合物 () PCB ()	トリクロロエチレン () テトラクロロエチレン () ジクロロメタン () 四塩化炭素 () 1,2ジクロロエタン () 1,1ジクロロエチレン () シス1,2ジクロロエチレン () 1,1,1トリクロロエタン () 1,1,2トリクロロエタン ()	1,3ジクロロプロペン () チウラム () シマジン () チオベンカルブ () ベンゼン () セレン又はその化合物 () ダイオキシン類 ()		
	主要データ	PH () COD (mg/l) BOD (mg/l) SS (mg/l) 粘度 (Pa·s)	比重 () 水分 (%) 融点 (°C) 沸点 (°C) 引火点 (°C)	発火点 (°C) 爆発範囲 (%) 発熱量 (MJ/KgDry) 熱しやく減量 (%) その他 ()		
	発生工程(用途)フローシート及び材質上の注意事項					
	安全対策	有毒性	許容濃度() 経口毒性LD50() 経皮・吸入毒性()			
		危険性・取扱注意事項	<input type="checkbox"/> 要注意() <input type="checkbox"/> 特になし			
保護具		<input type="checkbox"/> ガスマスク着用 ガスマスク種類() 吸収缶() <input type="checkbox"/> 手袋着用() <input type="checkbox"/> 保護めがね着用() <input type="checkbox"/> その他()				
異常処理	救急処理	人体付着時() 吸入時()				
	漏洩処理					
	初期消火					

注) 廃棄物の種類又は発生工程ごとに記載して下さい。

廃棄物物性・安全データシートの記入方法

本シート作成にあたっての前提

- (1) 本シートは、受託者である（一財）佐賀県環境クリーン財団が適正かつ安全に廃棄物の処理を行うための受注検討の基礎資料として、廃棄物の品質等を明示していただくもので、委託者の責任において記載作成して下さい。
- (2) 委託者は、廃棄物に関する情報未提示により処理施設での事故を回避するため、詳細に記載して下さい。
- (3) 本データシートの記入についてご不明な点がございましたら、業務課までご連絡ください。

1. 廃棄物の名称及び排出事業所

処理委託申込書と同一の廃棄物の名称及び排出事業所名を記載して下さい。

2. 廃棄物の物性について

- (1) 写真の提出
写真は、外観の性状が分かるよう鮮明なものを添付して下さい。
- (2) 外観性状
搬入廃棄物の目視等による性状等を記載して下さい。
- (3) 品質安定性
やむを得ず提出サンプルと実際に発生する廃棄物に差が生ずる場合は、バラツキにチェックし、反応性等に記載して下さい。
- (4) 主成分及び混合成分等
塩素系廃プラスチック類や廃溶剤など塩素や臭素その他注意を要する物質を含む場合は、その含有率を記載して下さい。
- (5) 有害物質チェック
特定有害産業廃棄物が含まれる場合は、溶出量又は含有量にレ印でチェックし、その単位を記載のうえ、該当項目に測定値を記載して下さい。
- (6) 主要データ
廃棄物の処理時あるいは処理後に問題となる物質を挙げてあります。これ以外に注意を要するものがあれば必ず記載して下さい。

3. 発生工程・用途、フローシート及び材質上の注意事項

- (1) 発生工程については、広く周知された一般的なものについては、名称のみで結構です。
- (2) 発生工程やフローシートの明らかにできないものについては、その発生工程で生産される主製品の用途など搬入廃棄物のイメージが描ける事項を記載して下さい。
- (3) 注意を要する材質上の留意事項があれば記載して下さい。

4. 安全対策及び異常措置

- (1) 搬入廃棄物に該当するMSDS（製品安全データシート）がある場合は、そのシートを添付することにより、記載を省略して構いません。
- (2) 有毒性については、労働安全衛生法の規定を参考にして記載して下さい。また、中毒情報等に関するインターネット等を参考にして下さい。